

第 6 回

(通算3552回) 例会  
令和5年8月10日  
例会場：ホテルアークリッシュ豊橋

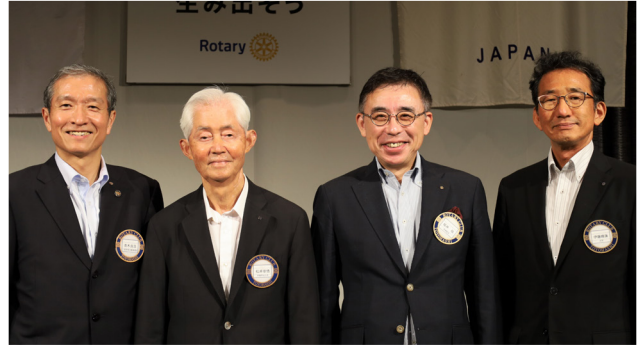
創立記念例会

石川和昌PGのご活躍を振り返って  
プログラム委員会 担当



2023-24 RI テーマ ● 世界に希望を生み出そう

8月 会員増強・新クラブ結成推進月間



青木 良浩 松井 章悟 会員 福井 敬 会長 伊藤 晴康 幹事  
プログラム委員長

## 会長挨拶

福井 敬 会長

本日は創立記念例会です。豊橋RCは73年前の1950年の本日8月10日に、名古屋RCをスポンサークラブとし、2760地区で3番目のロータリークラブとして誕生しました。1950年は戦争の影響が色濃く残り、ようやく立ち直り始めた時代です。戦争で焼かれてしまった町中にも建物が建ち並び、テレビの放送が始まったりと、今の私たちの暮らしの基になるような出来事が多く始まった時代だったようです。そんな自分たちの生活が一番という状況の中、ロータリーのような奉仕を目的とした団体が立ち上がったのは本当に志が高い人が集まっていたからでしょう。その頃とは豊橋RCを取り巻く環境は大きく変わっていますが、本日の創立記念例会を機に、今後豊橋RCはどうあるべきかを考える例会にしたいと思います。

先日地区財団セミナーに参加した際、現在もポリオに苦しんでいる方が講演されていました。実際にまだ苦しんでいる方がいるという事実に対し、私たちは手を差し伸べなければならないと思います。今RIでは「ポリオプラス・ソサエティ」プログラムを行っており、既に多くの国の会員が参加しています。皆さまも是非その意義を理解していただき、一人でも多くの方の参加をお願いしたいと思います。

## 卓話者紹介

青木 良浩 プログラム委員長

本日卓話をしていただく松井章悟会員は、豊橋RC 50周年直前の年に会長を務められました。50周年事業の皮切りとして豊橋美術館で催された「児島虎次郎展」は、とても盛況だったと伺っています。また、50周年記念誌の活動にも記録担当として携わられました。私は今回の例会で松井さんに是非石川PGのご活躍をお話いただきたいと思いました。また、会員歴の短い方にも共有させていただきたいとお願したところ、ご快諾いただきました。本日は限られた時間ですが、当時の息吹をお伝えできたらと思います。

## 石川和昌PGのご活躍を振り返って 松井 章悟 会員

石川さんは1961年2月に28歳で豊橋RCに入会され、大変若い頃からロータリーと共に過ごされました。1967年に幹事、1979年に会長、1988年に地区幹事、1995年にガバナー、2000年にクラブ創立50周年実行委員長を務められました。

石川さんは豊橋RCで4人目のガバナーとして地区の活性化に一生懸命取り組まれました。1995年アナハイムの国際協議会では9名の女性ガバナーの出現を目の当たりにして、変わりゆくロータリーに驚嘆されたそうです。また、会員増強については若い方や女性の入会を奨励すると共に、新クラブの結成も訴えられました。ポリオ根絶については特別委員会を設けて運動を展開しました。年々肥大化し形骸化する組織にメスを入れるため、簡素化と節約を施し会計の明確化を図りました。青少年交換、ロータリー財団、米山等については地区委員長はじめ委員の自己負担の多さから固定事務所の設置を提案されました。これは現在に至るまで続いています。石川さんがガバナーの時「質素・儉約」を自ら実行し、名鉄とJRを交通手段として、一人で75クラブの公式訪問を行いました。この一年は石川ガバナーにとって心身共に大変な年であったと思いますが、終始元気に活躍され2760地区に新鮮な風を送り込まれました。

石川さんが実行委員長を務められた50周年記念事業では「児島虎次郎展 大原美術館の名品」「創立50周年記念式典」「佐藤しのぶソプラノリサイタル」「祝賀会」「ベルリン放送交響楽団演奏会」「地域環境フォーラム」が行われました。「地域環境フォーラム」はNHKで70分間全国放送され前代未聞のことだったと思います。

「50周年記念事業を顧みて」という記録がありましたので、それぞれのご発言を紹介いたします。石川さんは「今回の50周年事業は2000年1月から2001年6月までの一年半に渡る長丁場の中で企画、立案し、実

行していただきました。式典、記念誌、祝賀会、総務、会計の6委員会全てが参加し、当クラブの伝統である「自ら考え、自ら額に汗してやること」で立派な成果が得られたと思います。実行にあたっては全会員へアンケートを行って皆さまの意向を伺い、50年の大きな節目を次なる飛躍に繋げることが出来るように、ロータリーが豊橋に根付いて50年間お世話になったことに対してどの様に応えられるかを基本理念にしました。結果的には地域を巻き込んだ大きなイベントとして成功しました。それだけに各担当委員長方には大変なご苦労をおかけしました」と述べられています。

三浦多久二50周年事業委員長は「1997年10月に50周年事業検討特別委員会を発足しました。夢とロマンを追い求め、産業や文化、地域社会に計り知れない貢献をしてきた大原の精神を当地方に教えてほしいという気持ちで企画立案しました。1998年7月に大原美術館を訪問し、児島展と大原名品展が可能であるとお話を承り、その翌日に豊橋美術博物館もやりたいということで第一の扉が開かれました。1995年5月家族会での大原美術館への表敬訪問にはじまり、以後新聞テレビ等でかなり報道され、2001年1月14日のオープニングセレモニーから2月13日の会期終了まで大盛況でした」と述べられています。

佐藤脩次祝賀会委員長は「1999年4月にNHK中部ブレイズの後藤社長から「NHKの「金曜フォーラム」をロータリークラブが主催しないか」との打診が提示され、豊橋市と豊橋RCが環境フォーラムを共催することになりました。その後、2001年1月25日に400名のロータリアンと一般市民700名で一大フォーラムが開催され、その翌月に「金曜フォーラム」で70分間に渡り放送されました」と述べられています。

神野紀郎式典委員長は「今回の式典係は式典と記念事業、佐藤しのぶリサイクルを一緒に行うということで、大ホールと中ホールのあるライフポートが良いということになりました。会場が中心街から離れているので輸送問題という難題がありましたが、なんとか解決して予定通りグランドホテルでの祝賀会へ移動していただきました」と述べられています。

私は当時、三浦さんと佐藤さんと神野さんがご自分の担当以外のことにもお互いに協力して企画されているのを拝見していましたが、その裏には石川さんの助言があるのだと思い、感心したことを覚えています。

**「ロータリーの友」読みどころ紹介 福井一裕 雑誌委員長**



横組み5頁にRI会長のメッセージが掲載されています。メンタルヘルスに対する関心を深めようという内容が中心で、ロータリーの奉仕の行動は公衆衛生上の疫病である孤独を解消して人との繋がりをつくり、メンタルヘルスの改善に繋がるそうです。8頁からは、先ほどの孤独の

解消から関連してか「生涯の友が見つかる場所へ」という題で特集が掲載されています。友情が街を盛り上げることに発展したり、男性ばかりではなく女性会長会も開催されて親睦を深められているようで、ロータリーならではの内容となっています。

縦組み16頁からの友愛の広場には8月ということで平和を意識した内容がいくつかありましたので是非ご一読いただきたいと思います。

**ニコニコBOX**

**宮田 正人 ニコニコ委員**

- 松井章悟会員の卓話を楽しみにしています。石川PGの最後のニコニコを思い出しました  
福井 敬 会長
- 創立記念例会のスピーチをさせていただきます  
松井 章悟 会員
- 本日の卓話者をご紹介いたします  
青木 良浩 プログラム委員長
- 出席報告をさせていただきました  
江崎 雅彰 出席委員
- 「ロータリーの友」読みどころを紹介させていただきました  
福井一裕 雑誌副委員長
- タイ教育支援金のお願いと国際奉仕事業への参加依頼をさせていただきました。皆様よろしくお祈りします  
井上 泰宏 国際奉仕委員長  
笠原 元樹 国際奉仕副委員長
- 豊橋技術科学大学のロボコン同好会が、6月に開催された「NHK学生ロボコン大会」にて優勝（連覇、通算8回）いたしました。来る、8月27日にカンボジアでの世界大会に日本代表で出場いたします。引き続き応援の程どうぞよろしくお願いいたします  
寺嶋 一彦 会員
- 本年度初めてのニコニコを発表させていただきました  
宮田 正人 ニコニコ委員  
(順不同)

**幹事報告**

**伊藤 晴康 幹事**

1. 次週17日は、例会休会となります。

**歌**

**ソングリーダー 宮本 順子 RA委員長**



「栄冠は君に輝く」

**出席報告**

**江崎 雅彰 出席委員**

当日出席者 73名      計算会員数 95名中22名欠席  
総会員数 112名      出席率 76.84%

**例会予定**

- 8月17日(木) 休会
- 8月24日(木) インターアクトアワー